

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

成果指標①	成果指標の目標数値	子育て支援センターの利用者数の増加 (H23：年間2,383人⇒H29：年間2,500人)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：5,747人/年	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成29年度は岩滝子育て支援センターをNPO法人に委託し、場所も知遊館から旧かえでこども園へと変わり、町とは異なる視点での子育て支援を実施。年齢別クラスの撤廃や野田川子育て支援センターの開所日を週4日から週5日に増やしたことで、利用者ニーズに対応しているため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)	—
成果指標②	成果指標の目標数値	障害者グループホーム・ケアホーム施設数の増加 (H23：4カ所⇒H29：5カ所)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	平成29年度：6カ所	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成28年度に岩滝地域では初めての障害者グループホームが開設した。このグループホームは地域支えあいセンターが併設され、地域住民との交流の場、障害者等の活動の場、災害時の避難所などとして活用されている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)	—
成果指標③	成果指標の目標数値	施設入所者の地域生活（在宅グループホーム・ケアホーム）への移行者数の増加（H23：1人⇒H29：7人）		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	H29年度：2人/年	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	施設入所者を地域へ推し出す取り組みを施設と連携し取り組んでいく必要があるが、グループホームが満室の状況で、施設入所からの移行を積極的に受け入れられるグループホームは現状ではなく、今後も厳しいと思われる。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)	—
成果指標④	成果指標の目標数値	小規模多機能型居宅介護事業所数の増加 (H23：4カ所⇒H29：6カ所)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	H29年度：4カ所	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	サービス体系としては有効であるが、介護報酬の設定に難があり利用者を増加させることが困難となっている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)	—
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	地域共生型福祉施設「やすらの里」の開設に伴い、加悦地域の子育て支援センターをその施設内に移転したことにより、利用者の利便性が向上し、利用者数が大幅に増加した。その結果として、目標値を大幅に上回ることができた。					
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業で掲げた、住民や民間の福祉法人が取り組む事業を支援するという形で、与謝野町が抱える福祉分野の諸問題に、町が一体となって解決に向け取り組むことができた。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	地域密着型の福祉環境の整備などにより、福祉の現場が郊外型の施設等から、利用者の生活環境を変えない居住地近辺へと配慮がなされるようになってきた。このような変化の中、住民も福祉の分野での関わりを意識することとなり地域社会全体で福祉の諸問題に取り組む意識の向上に繋がっている。
	リーディング・モデル成果	特に、地域福祉空間整備事業にて整備される地域共生型福祉施設については、入所介護、訪問介護、障害者勤労支援など、この地域が抱える諸問題を一体的に解決することのできる先進的な取組として期待される。
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	町立の福祉施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。 また、地域共生型福祉施設の整備においては、実績のある民間の福祉法人と協働で整備を行うことから、地域住民ニーズに即したサービスの提供を効率的かつ効果的に行うことができる。
	その他の成果	